

			科目コード	127
科目名	生命倫理 (Bioethics)		開講学科	看護学科・臨床検査学科
選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (15時間)	履修時期
				1 年次後期
担当教員	小沼 大八*		科目区分	共通教育科目
授業概要	看護はいろいろと病める状態にあるひとびとが対象である。当然ながら看護を志すものには、人間と人間苦についての深い理解が求められる。したがって講義では、人間をその生老病死に即して多面的に論ずる。そのことを通して、看護が直面する倫理的諸問題を明らかにする。			
授業目標	人間の生と死、生命の本質、生命の尊厳など生命倫理の基礎的な知識を修得するとともに、医療技術の進歩に伴い発生してきた生命倫理の諸問題について学ぶ。			

授業内容

回	項目	内 容
1	ガイダンス	生命倫理が目指すもの 宇宙における人間の位置、生命誕生、人間誕生
2	人間の特殊性	本能退化ということ、からだの貧しさ 人間は文化的動物である、文化とはなにか
3	病気を考える	ディジーズ (Disease) とイルネス (Illness) の違い 文化と病気の関係、病苦について
4	老いを考える	老いの2面－老熟と老衰－、老苦について 長寿社会の諸問題
5	人間の死を考える (1)	死の判定－心臓死と脳死－、死苦について 病院死の諸問題
6	人間の死を考える (2)	E. K. ロスの「死の五段階説」 日本人の死生観
7	ひとの誕生	生苦について、難産と生理的早産 0歳児がもつ意味
8	まとめ・試験	人間の生老病死を考える
成績評価方法		ペーパーテストをもとに評価する。
教科書		講義に必要な資料は適宜配付する。
参考図書等		小沼大八「人間と文化の諸相」(創風社)
備考		